

感じる・知る・学ぶ 武蔵国分寺跡 史跡指定 100 周年を迎えます



今から約 1,300 年前の奈良時代は、伝染病の流行、飢きん、大地震、政治の混乱によって社会不安が続きました。特に天然痘の流行により、国内では 100 万人以上ともいわれる死者を数え、人々は苦しみの中にありました。そこで聖武天皇は、仏教の力によって国の混乱を鎮め、国民に幸福をもたらすために天平 13 年（741）に国分寺建立の詔を發布し、当時の 60 余国に建立された国分寺の一つが武蔵国分寺です。その武蔵国分寺跡は、大正 11 年（1922）に国の史跡指定を受け、令和 4 年はちょうど 100 周年の節目にあたります。

金堂付近はこんなに変わっています！



大正 11 年



現在

現代の社会も、新型コロナウイルス感染症の大流行や地震、異常気象による洪水等の未曾有の危機に直面しています。過去の歴史に学び、歴史的意義を改めて周知し、市を挙げて史跡指定 100 周年記念事業に取り組みます。武蔵国分寺跡資料館では、特別展示として「史跡 100 周年のあゆみ」や同時期に 100 周年を迎える他地域と連携した展示などを行い、郷土の宝である武蔵国分寺跡を未来につないでいきます。

問合せ ふるさと文化財課 ☎ (042) 300-0073

国分寺市の文化財

問合せ ふるさと文化財課 ☎ (042) 300-0073

「沖本家住宅洋館」「沖本家住宅和館」

○国登録有形文化財 ○所在地 内藤 2 丁目

令和 3 年 10 月 14 日に「沖本家住宅洋館」「沖本家住宅和館」が国の登録有形文化財となりました。

洋館は昭和 8 年（1933）に、関西を拠点とする貿易商土井内蔵が甥の川崎忍に設計を依頼した別荘でした。国分寺市域では大正から昭和初期にこのような別荘が複数建てられており、植生は変化していますが、沖本家の建物の周囲の庭も別荘としての在り様を示しています。この建物を自宅として昭和 12 年（1937）に譲り受けた沖本至は、昭和 15 年（1940）に来客を迎える際などの建物として和館を増築し、その後大事に住まわれてきました。



ふるさと文化財課では、平成 29 年度から文化財の把握を行う文化財総合調査を開始しましたが、ほぼ同時に市民の方から素晴らしい建物が存在することを教えていただきました。

その後、所有者様のご協力を得て調査を行い、令和元年度末に報告書を作成し、保存状態の良い貴重な建物であることから、登録有形文化財となりました。

現在、「カフェおきもと」として営業されており、建物の雰囲気を楽しみながら食事を楽しむことができます。

税の標語・税についての作文の表彰者

次代を担う中学生に税への関心と理解を深めてもらうことを目的としているコンクール・募集で、国分寺市長賞及び国分寺市教育委員会教育長賞を受賞した生徒の表彰式を令和 3 年 12 月 17 日に市長応接室で行いました。

■「税の標語」入賞者

国分寺市長賞受賞

くまさかさくら 熊坂 桜さん（二中）

『消費税で 守っていこう
明るい社会と 希望の明日』

■「税についての作文」入賞者

国分寺市長賞受賞

さかもとさやか 坂本沙也加さん（三中）『年金と日本の未来』

国分寺市教育委員会教育長賞受賞

たなべかのん 田邊紡音さん（五中）『コロナで学んだ税の大切さ』

※受賞作文は市のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。右図の QR コードからアクセスできます。



問合せ 教育総務課 ☎ (042) 574-4040

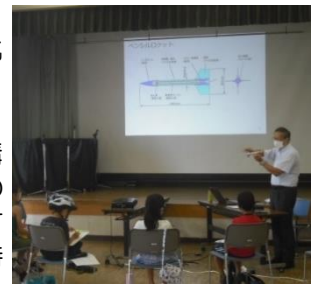
学ぶ・つながる ～公民館事業・講座紹介～

学習支援事業

「4つのおもしろいはなし～地域のエキスパートに学ぶ～」

並木公民館運営サポート会議での「子どもたちの主体的な学びの意欲を引き出すきっかけ作りを『学習支援』につなげることはできないだろうか」という意見をもとに、子どもたちを対象とした講座を実施しました。

夏休みの自由研究につながることを期待し、「4つのおもしろいはなし」として、「化学」「郷土史」「言葉」「絵画」についての話を地域に住んでいる専門の方から聞きました。子どもたちは、1 回当たり 15 分間の講師の話を班ごとに聞いて回りました。実際の参加者は想定よりも低い学年が多く、理解するには難しい内容もありましたが、関心を持つ内容もあり、熱心に話を聞いていました。



見学に来ていた並木公民館運営サポート委員からは「大人向け講座もお願いしたい内容だった」との声が聞かれました。

今回の事業を通して、年齢に関係なく学ぶこと、学ぶ場を提供することについて改めて考える機会になりました。

問合せ 公民館課（並木） ☎ (042) 321-9971

子ども中庭コンサート

「ともともとあいちんのガラクタ音楽会」

恋ヶ窪公民館では、新たな音を生み出すパーカッション「ともとも」と、軽やかな音を奏でるピアニスト「あいちん」による「ガラクタ音楽会」を開催しました。この講座は、親子で SDGs の視点を持ちながら、「コンサート」の概念をくつがえすような、音楽の自由な楽しさを味わってほしいと思い実施しました。

はじめに、ペットボトルにビーズや小石などを入れ、ペッカーという楽器を作りました。できた楽器を振ってみたり回してみたり、自由に音を楽しみました。参加者からは、「身近にあるペットボトルが楽器に変わるなんて」という声が上がりました。

その後、「ともとも」と「あいちん」による「ガラクタ音楽会」がスタートしました。一斗缶をドラムにして演奏したり、水道用のプラスチックパイプとしゃもじで「さくら」を演奏したり、さざなみを再現した即興演奏が行われました。最後は、みんなでペッカーを振ったり、新聞紙を丸めたり破いたりして、いろいろな音を楽しみました。



身近にあるペットボトルや新聞紙、いっけんガラクタやゴミに見えるものでも、鳴らせば豊かな音色を奏でる楽器になる。大人も子どもも、音楽の自由さと楽しさを体験することができました。

問合せ 公民館課（恋ヶ窪） ☎ (042) 324-1926

教育委員会の動き



令和 3 年 10 月から令和 4 年 1 月までの間に、定例会を 4 回、臨時会を 1 回開催しました。定例会や臨時会の議事録は、随時、市のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。（右上の QR コードからアクセスできます。）

議案を 1 件ご紹介いたします

＜令和 2 年度第 2 次国分寺市教育ビジョンに基づく主要施策の点検及び評価について＞教育委員会が行っている事務の実施状況等について、点検し、評価を行っています。その結果は、市のホームページや図書館等で公開しています。



その他の主な議案は以下のとおりです
・令和 3 年度国分寺市一般会計補正予算案について

＜教育委員会定例会の開催日程（予定）（2 月 1 日現在）＞
2 月 24 日（木）午前 9 時 30 分～、3 月 24 日（木）午後 1 時 30 分～、
4 月 28 日（木）午前 9 時 30 分～、5 月 26 日（木）午前 9 時 30 分～
会場：ひかりプラザ 2 階 203・204 号室
※日程・会場は変更になる場合があります。最新の情報は、市のホームページでご確認ください。（右上の QR コードからアクセスできます。）
※上記日程以外に、必要に応じて臨時会を開催することがあります。



※定例会の傍聴を希望される方は、当日直接会場までお越しください。申込みは不要です。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴の自粛をお願いする場合があります。最新の情報は市のホームページでご確認ください。

問合せ 教育総務課 ☎ (042) 574-4040